

2004年3月30日

退職給付制度の改定及び固定資産の減損会計の  
早期適用等に伴う特別損益の発生について

当社は、平成16年3月30日開催の取締役会において下記事項を決議したことにより、当期決算において特別損益が発生する見込みとなりましたのでお知らせ致します。

記

1. 退職給付制度の改定に伴う過去勤務債務の一括処理

近年、企業年金の運営は、資産運用環境の悪化により大変厳しい状況にあり、結果として母体企業の損益も圧迫しています。このような、年金財政上及び企業会計上のリスク軽減を図るため、当社グループ厚生年金基金は平成14年10月18日に将来分の代行部分返上認可を国から受けました。これに続いて、平成16年4月1日には過去分を返上し、確定給付企業年金（基金型）へ移行する予定であり、それとともに、新たな退職給付制度として、キャッシュバランスプラン（※）を導入して年金制度と企業収益のさらなる安定化を図ります。この制度改定の結果、過去勤務債務（利益）が発生しますが、これを当期決算において一括処理することとし、連結で約95億円、単独で約90億円の特別利益を計上する予定であります。

※退職金や年金の受取額が、勤続期間及び年金受給期間の市場金利に連動して上下する制度

2. 固定資産の減損会計の早期適用

当社グループは、前期決算において、先行き不透明な経済環境に備え経営基盤を強化するために、抜本的なバランス・シートの健全化、スリム化を図りました。当期は、これをさらに推進するために、「固定資産の減損会計に係る会計基準」を早期適用することとし、ゴルフ場等を中心に減損処理を行います。この結果、関連する処理を含め、連結で約55億円、単独で約65億円（うち関係会社事業損失引当金繰入額等約55億円）の特別損失を計上する予定であります。

3. 平成16年3月期通期業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

上記の他に、退職給付会計において、計算基礎率の変更による退職給付債務の増加、年金資産の運用益の発生などが見込まれますが、諸要因を全て勘案すると、現段階においては、平成16年2月13日に公表した通期業績予想数値への影響は軽微と判断し、予想数値の修正は致しません。

<参考>平成16年2月13日公表の平成16年3月期通期業績予想

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				(期末)	通期
連結	670,000	16,000	9,000	円 銭	円 銭
				-	-
単独	570,000	14,000	8,000	円 銭	円 銭
				6 50	13 00

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。今後様々な要因によって、実際の業績は見通しと異なる結果となる場合があります。

以上

<お問い合わせ先>

住友林業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室

TEL 03-3214-2270

©SUMITOMO FORESTRY CO.,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.